

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

逆流防止手術前後における EPSIS 指標の変化と治療成績との関連に関する後方視的検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2017年7月1日から2026年1月31日までに昭和医科大学江東豊洲病院消化器センターで逆流防止手術を受けた患者さん

2. 研究目的・方法

逆流防止手術は、胃食道逆流症や食道裂孔ヘルニアに対する有効な治療法ですが、手術後の症状改善の程度には個人差があります。

本研究では、手術前後に行われた検査や診療記録の情報をを用いて、手術前後の胃内圧検査から得られる指標（EPSIS）と治療成績との関連を調べることを目的としています。

研究に使用する情報は、上部消化管内視鏡検査を含めた、すでに診療の過程で取得されたものであり、新たな検査や治療を行うものではありません。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年12月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、以下の診療情報を使用します。

- 年齢、性別
- 診断名
- 内服薬治療歴、内視鏡治療歴、外科手術治療歴
- 手術内容および手術時間
- 手術前後に実施された検査結果（上部消化管内視鏡検査結果）
- 手術後の経過および治療成績（症状の有無、内服薬の有無）

※ いずれも診療録に記載された既存の情報のみを使用します。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究は、昭和医科大学江東豊洲病院における単施設研究であり、該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者	研究機関名	昭和医科大学江東豊洲病院消化器センター	氏名	鬼丸学
研究分担者		昭和医科大学江東豊洲病院消化器センター	氏名	井上晴洋

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学江東豊洲病院消化器センター	氏名：鬼丸学
住所：東京都江東区豊洲 5-1-38	電話番号：03-6204-6846